

1 決算総括表

(単位:百万円)

区分 事業名	収益的収支			資本的収支		
	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A)-(B)	収入 (C)	支出 (D)	差引 (C)-(D)
電気事業	(7,468) 7,931	(5,814) 5,948	(1,654) 1,983	(1,012) 269	(3,748) 2,834	(△ 2,736) △ 2,565
工業用水道事業	(1,966) 2,041	(1,563) 1,529	(403) 512	(1,280) 426	(1,987) 1,153	(△ 707) △ 727
水道事業	(6,930) 6,710	(4,925) 4,770	(2,005) 1,940	(1,467) 672	(5,709) 3,592	(△ 4,242) △ 2,920
団地造成事業	(4,820) 2,852	(3,825) 2,492	(995) 360	(104) 597	(3,199) 2,906	(△ 3,095) △ 2,309
駐車場事業	(149) 704	(149) 2,569	(0) △ 1,865	(119) 0	(138) 20	(△ 19) △ 20
施設管理事業	(838) 868	(671) 687	(167) 181	(43) 27	(333) 258	(△ 290) △ 231
合計	(22,171) 21,106	(16,947) 17,995	(5,224) 3,111	(4,025) 1,991	(15,114) 10,763	(△ 11,089) △ 8,772

(注) 本表以下、金額はいずれも消費税抜きの金額で、()内は前年度決算額です。

2 損益の概要

(1) 総括表

(単位：百万円)

事業名		電気事業	工業用水道事業	水道事業	団地造成事業	駐車場事業	施設管理事業	合計
区分								
30年度 (A)	主たる収益(注)	7,679	1,660	6,117	2,697	133	847	19,133
	経常損益	1,920	428	1,914	259	△ 2	181	4,700
	特別損益	63	84	26	101	△ 1,863	0	△ 1,589
	純損益	1,983	512	1,940	360	△ 1,865	181	3,111
29年度 (B)	主たる収益(注)	7,276	1,666	6,117	4,708	110	818	20,695
	経常損益	1,594	395	2,003	947	0	167	5,106
	特別損益	60	8	2	48	0	0	118
	純損益	1,654	403	2,005	995	0	167	5,224
増減 (A)-(B)	主たる収益(注)	403	△ 6	0	△ 2,011	23	29	△ 1,562
	経常損益	326	33	△ 89	△ 688	△ 2	14	△ 406
	特別損益	3	76	24	53	△ 1,863	0	△ 1,707
	純損益	329	109	△ 65	△ 635	△ 1,865	14	△ 2,113

(注) 「主たる収益」は次のとおりです。

- 電気事業：販売電力料 ○工業用水道事業：給水収益 ○水道事業：給水収益
 ○団地造成事業：産業団地等の分譲収益 ○駐車場事業：駐車利用料金 ○施設管理事業：格納庫及び賃貸ビルの賃貸収益、ゴルフ場の使用収益

(2) 事業別損益の状況

① 電気事業

(単位：百万円)

区 分	供給電力量 (kWh)	販売電力料	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
30年度(A)	783,033,596	7,679	1,920	63	1,983	雨量が平年比で79%となり供給電力量は減少しましたが、販売電力料の売電単価が上昇したことなどにより、販売電力料、経常利益とも前年度に比べ増となり、純利益は3億29百万円増の19億83百万円となりました。
29年度(B)	801,489,668	7,276	1,594	60	1,654	
増減(A)-(B)	△ 18,456,072	403	326	3	329	

② 工業用水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
30年度(A)	47,498,451	1,660	428	84	512	給水実績は増えたものの、受水企業の事業縮小に伴う契約水量の減により料金収入が減少し給水収益は減となりましたが、減価償却費などの費用が減少したことから、経常利益は前年度に比べ増となりました。 また、契約水量の減に伴う負担金など特別利益84百万円を計上したことから、純利益も増加し、5億12百万円となりました。
29年度(B)	46,308,239	1,666	395	8	403	
増減(A)-(B)	1,190,212	△ 6	33	76	109	

③ 水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
30年度(A)	83,133,860	6,117	1,914	26	1,940	給水実績、給水収益は横ばいでしたが、ポンプ分解点検など定期点検にかかる修繕費の増加や県央第一水道事務所の3系浄水処理施設の供用開始に伴い減価償却費が増加したことなどにより、経常利益、純利益とも黒字幅が縮小しました。
29年度(B)	83,133,860	6,117	2,003	2	2,005	
増減(A)-(B)	0	0	△ 89	24	△ 65	

④ 団地造成事業

(単位：百万円)

区 分	分譲面積 (m ²)	分譲収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
30年度(A)	119,000	2,697	259	101	360	産業団地の伊勢崎宮郷工業団地及び板倉ニュータウンのほか館林広域防災拠点、合わせて約12ヘクタールを分譲しましたが、前年度の分譲面積27ヘクタール余と比べ約15ヘクタール減少したため分譲収益は減となり、経常利益、純利益とも黒字幅が縮小しました。
29年度(B)	273,951	4,708	947	48	995	
増減(A)-(B)	△ 154,951	△ 2,011	△ 688	53	△ 635	

⑤ 駐車場事業

(単位：百万円)

区 分	駐車台数 (台)	駐車 利用料金	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
30年度(A)	334,508	133	△ 2	△ 1,863	△ 1,865	近隣商業施設の来客者増等により駐車台数が増え駐車利用料金も増加したものの、高崎市との協定に基づき、最終的な収支が均衡するよう負担金で調整を行うこととしているため、例年であれば損益は収支均衡となりますが、平成31年4月1日付けでウエストパーク1000を高崎市へ譲渡しており、譲渡に伴い固定資産の減損損失などの特別損益マイナス18億円余を計上したため、純損失は18億65百万円となりました。 なお、純損失は資本剰余金を充てて処理したため、譲渡に伴う実質的な損失は発生していません。
29年度(B)	273,569	110	0	0	0	
増減(A)-(B)	60,939	23	△ 2	△ 1,863	△ 1,865	

⑥ 施設管理事業

(単位：百万円)

区 分	ゴルフ場利用人員(人) 賃貸ビル賃貸面積(m ²) 格納庫賃貸面積(m ²)	ゴルフ場収益 及び 賃貸収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
30年度(A)	261,429 3,772 1,757	847	181	0	181	ゴルフ人口が減少傾向にあるなど、ゴルフ場利用人員は微減となりましたが、降雪や台風の影響により営業できなかった期間に対する指定管理者納付金の減額調整がなかったことや、賃貸ビル事業の入居団体の増などにより、経常利益、純利益とも増となりました。
29年度(B)	263,191 3,655 2,170	818	167	0	167	
増減(A)-(B)	△ 1,762 117 △ 413	29	14	0	14	